

事業報告書

4/21/2021

	NO	4	
事業名	第1回 NIST	事業主体	審判指導者トレセン
期 日	4月17日（土）	開催地	WEB
参加者	25名	事業責任者	岡田 要
		担当者	岡田 山下
テーマ	今年度の事業計画について		
	<p>19:00~19:20 開会あいさつ 【センター長】</p> <p>○各事業、担当の活動は委員会の目標をしっかりと理解した上で行う。 ○委員会の目標が前提としてあり、それに向かってやれることをいろいろやっていく。（帰納法的に行う）</p> <p>① NIST全体計画 【岡田】</p> <p>○先日の総会欠席者に向けて、委員会・NRSTのコンセプトの概略を説明 ○NIST:ヒューマニズム的成長と組織の進化（委員会コンセプトから、個人は成長組織は進化） ○コーチングレポートには「帯同」ではなく、高校生であっても氏名をフルネームで記入。高校名も。 ○会場では帯同の審判員に一言でもよかったところ・改善すべき点などを話す。「出会い」を大切に。</p> <p>② 年間計画・インストラクターグループについて 【岡田】</p> <p>○グループ研修を年間4~5回計画。各グループリーダーを中心にスキルアップ研修を企画する。 ○アセッサーについてはインストラクターグループで協議して派遣できるようにする。グループ内でいなければ他のグループに応援要請。</p> <p>③ イントレについて・ブロック部会について 【岡田】</p> <p>○イントレは6/19,20 7/24,25 8/21,22 会場は大村をベースに（担当：三ツ溝、廣田）参加者集約（担当：相馬） ○ブロック部会はコロナが広まる前に早めに動き出す。郡市審判長を促す。長崎市はすでに動き始めている。（太田）</p> <p>④ アセッサー、会議出席にかかる謝金等の精算について 【浦川】</p> <p>○アセッサーの精算書については浦川より振り込み連絡後、各自で作成し、浦川に郵送（氏名は必ずペン書き） ○定例会等はGoogleフォームより、シートを取得し、後は上記と同じ</p> <p>⑤ コーチグループミーティング 【岡田・グループリーダー】</p> <p>○A~Dブレイクアウトルームにて実施</p> <p>⑥ 全体協議（各グループミーティングの結果共有） 【岡田】</p> <p>A：テーマ「永谷プロジェクト」8月に発表を行う予定 ○グループ全員で永谷を見て、アプローチなどの共有を行う。 B：グループラインを作成する。（①審判員も含めたもの ②インスのみのもの） ○アカデミー、木村・山口氏を全員で育成する。公式戦ではなく、フェスティバルなどを活用 ○発表については福田氏を中心にプレゼンを作成する予定 C：リーダーの永谷氏が不在のため、はっきりとは決められないがサッカー以外をテーマに考えてみる。 ○グループラインを作成し検討する。 D：「柔軟に対応できる指導者とは」→審判員はもちろんだが、指導者が進化しないといけない。 ○コンセプトはあるがアプローチ方法が未定のため時間を要する。後半の発表希望 ※B：フェスティバルを活用しての指導について謝金等は出るのか？ →研修の企画をするという形ではないため、補助者2000円+旅費になるだろう。（支払いは審判トレセンから）</p> <p>⑦ その他 【センター長】</p> <p>○総会、NIST両方欠席者5名には岡田より再度連絡、5月に参加要請 ○無資格者が帯同で審判をするケースが今後出てくると思う。 →原則、対象チームにいなければ責任をもって雇うべき。 無資格者をさせるかどうかは運営の判断。主審が是非については問えない、が報告書にて報告させる。 無資格者が帯同審判をすることがないよう、原田副委員長が渡辺2種委員長に話す。 ○コーチレポートについて、「アドバンテージ」をファウルの見逃しの偽装に使っていないか。ノーファウルをアドバンテージとしていないか。 ○あるレポートのコメントからそれぞれ何を感じるか？→答えはそれぞれで考える。</p> <p>⑧ 閉会挨拶 【太田】</p> <p style="text-align: center;">その他事務連絡（次回は5月15日を予定、WEB会議）</p>		
所感	<p>今年度よりグループミーティングを設定し、グループ内での交流・研修を活性化させていきたいと考えている。早速どのグループもグループラインを作成したり、アセッサーについてもグループ内で対応したりするなど、設定の効果が出てきている。もしかしたら、合同研修会やブロック部会の指導者についてもグループで対応できる部分が出てくるかもしれない。また、新3級インスの発掘、研修などグループで行うことも可能になる。今後は各グループにおいて独自の集まりを設定し研修を積むことを通して、メンバー全員が当事者意識をもてるよう、活動のさらなる活性化を望む。</p>		
	報告日	4/18/2021	